

目的は 残業を減らす こと！ そのために [給特法見直し] を

このままでは #教師のバトンをつなげない ！



西村祐二（斉藤ひでみ）
岐阜県立高校教諭

2023年12月4日(月)18:30～
@連合会館

嶋崎量さん監修



これまでの活動

「給特法」抜本改正を求める署名提出 (2018.12.4)

文科大臣さま
厚労大臣さま

署名 
change.org

給特法を改正 して下さい！

- ① せざるを得ない残業は残業と認めて下さい
- ② 残業には残業代等の対価を支払って下さい
- ③ 残業時間に上限を設けて下さい
- ④ 部活顧問の選択権を保障して下さい
- ⑤ 残業ゼロの職場を管理職の責任で実現して下さい

2018年12月1日現在

賛同者

32,550

教師のブラック残業抑制を！



これまでの活動

「変形労働時間制」撤回署名提出 (2019.10.28)

文部科学大臣さま

署名 **C.**
change.org

変形労働制は 撤回下さい！

- ① 統計上の残業時間が減り改革が進まなくなる
- ② 延長した定時に合わせて仕事が増える
- ③ 夏休み前に倒れてしまう
- ④ 子育て・介護世帯が働き辛くなる
- ⑤ 残業は結局「自発的」なので規制が働かない
- ⑥ 部活顧問の強制が強まる
- ⑦ 年休を使う機会が失われる
- ⑧ 夏に休める保証はない

コメント
665

賛同者

33,155

2019年10月26日付



先生がいなくなる

活動を始めたきっかけ…

教師になりたいけれど、ブラックと知ってなるべきか悩んでしまいます

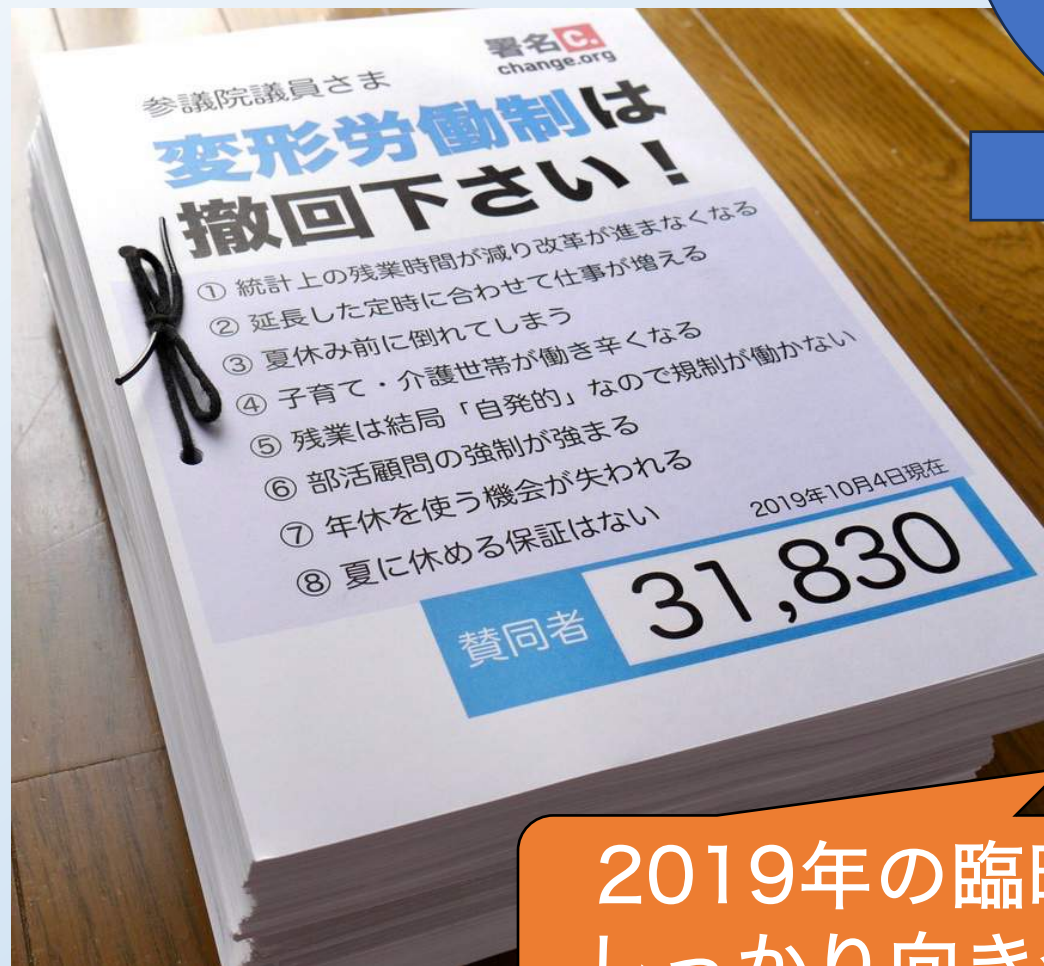


このままでは
10年先まで
教師不足が
続く…

先生がいなくなる

2019年の給特法一部改正で
教員志望学生が語った言葉

公立学校はもはや
沈みかけた船。今、
教員志望学生たちが
その船に乗船するの
を次々に辞めている



2022年度の小学校の
教員採用倍率は、**66の**
自治体のうち30で1倍台。
大分県では**実質定員割れ。**
今年度の速報値でも30の
自治体で1倍台…

「時事通信出版局」より

2019年の臨時国会で給特法と
しっかり向き合っていたら…!

国の議論に望むこと

●給特法見直しの「目的」は何？

→議論の発端は2019年の「働き方改革」

→調整額を上げてても残業を抑制する効果はない

国の議論に望むこと

- 仮に教員が「特殊」だとしても、
残業代を支払わない理由にはならない
- 私立や国立大附属教員の例から、
教員も残業代支払いが「可能」である
- むしろ教員は「残業」の判断がし易い

国の議論に望むこと

●教師の数を増やすだけでは解決にならない

→教師は増やすべきだが、給特法改廃とセットで

教員の意識

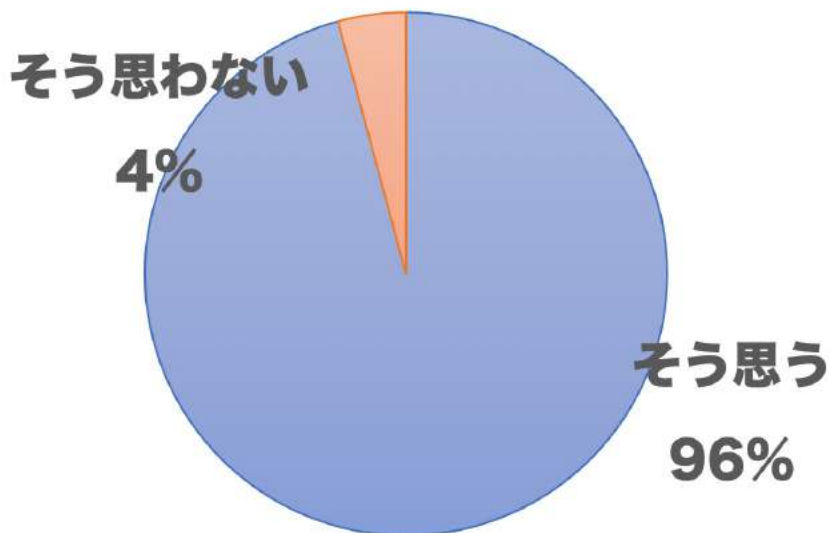
小中学校, N=924

学校の業務に関する調査

2021年11月実施

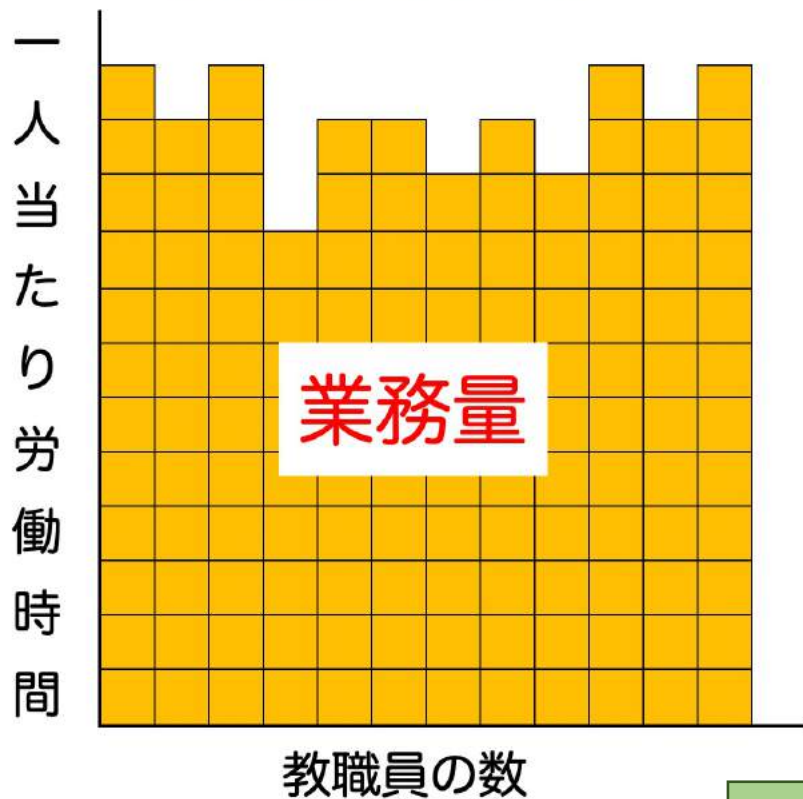
名古屋大学研究チーム調べ

学校ではある業務が削減されても
すぐに別の業務が増える(n=924)

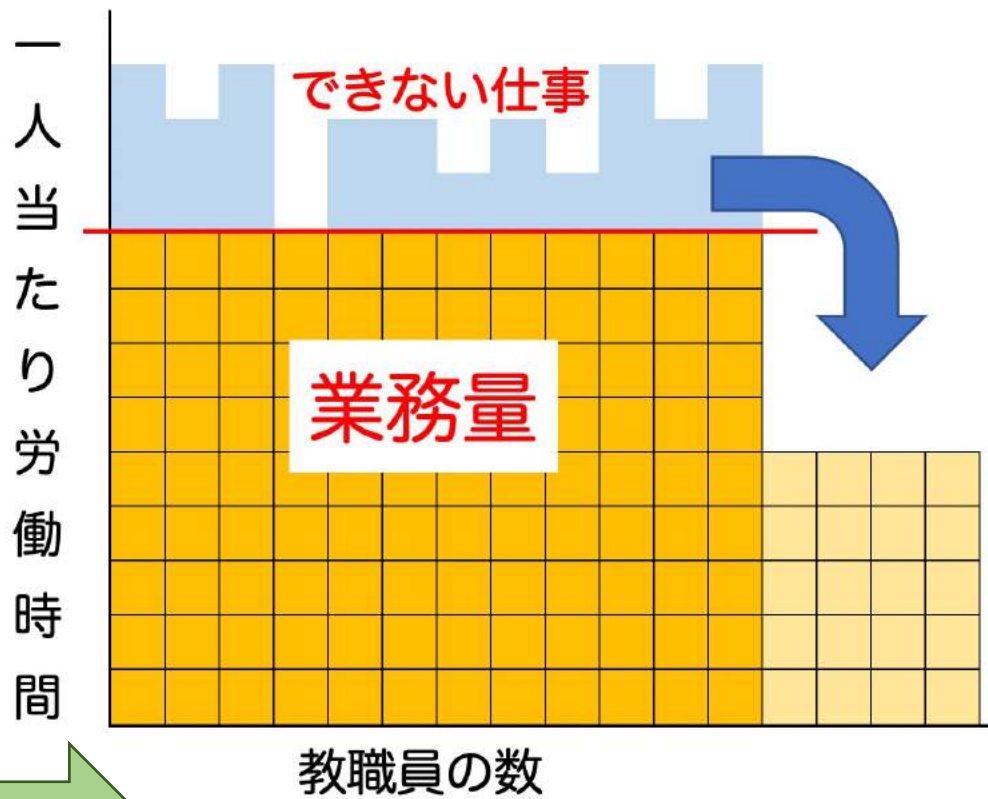


国の議論に望むこと

給特法がある場合



給特法がなくなれば



給特法を変えることは人を増やすことにつながる

国の議論に望むこと

仮に「調整額10%案」で進む場合…

- 月20時間を超えた残業の対価は？
- 残業上限を超えた場合の管理職責任は？
- 給特法の継続的な見直し
→法改正の3年後に教員勤務実態調査を

参考資料

教員の意識

小中学校, N=924

学校の業務に関する調査

2021年11月実施

名古屋大学研究チーム調べ



準備不足のまま授業に臨んでしまっている

思わない

37.4%

思う

62.6%

いじめを早期発見できているか不安だ

思わない

29.4%

思う

70.6%

0% 20% 40% 60% 80% 100%

教師はとても魅力のある仕事だ

86.6

13.4

仕事楽しい

77.2

22.8

仕事にやりがいを感じる

84.8

15.2

自分の学校の子どもに教職を勧めることができる

40.0

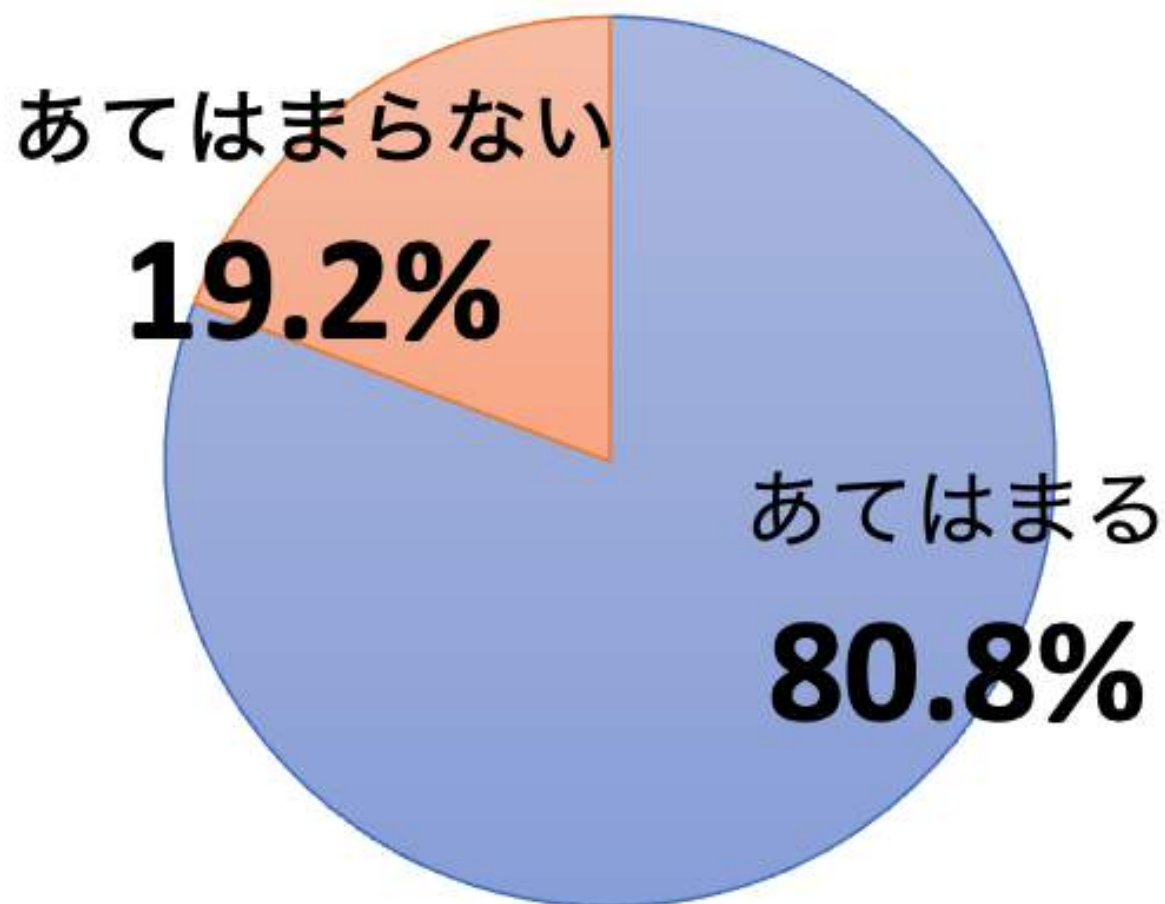
60.0

■ はい ■ いいえ

小中学校, N=924

部活動の指導は地域に移行すべきだと思う

N=458 (中学校教員)



参考資料

改訂のたびに分厚くなる学習指導要領



上から…1999年、2009年、2018年告示の高校学習指導要領

参考資料（自己紹介）

- 岐阜県立高校教諭
- 勤務の傍ら「斉藤ひでみ」名でtwitter発信、オンライン署名、書籍執筆、記者会見での提言、メディアや国会での発言などを行う
- 訴え：教師の多忙問題（部活動顧問の強制、給特法、一年単位の変形労働時間制）、生徒の権利（校則問題、部活動の強制加入）ほか



▲ちゃんと授業をしているところ

